

保健体育科学習指導案（批評授業）

指導教官 XXXXXXXXXX 先生 XXXXXXXXXX

実習生 XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX

- 1、日 時 平成 29 年 6 月 14 日（水） 4 時間目
- 2、場 所 体育館
- 3、学年・組 2 年 5.6 組 40 名（5 組 20 名 6 組 20 名）
- 4、単元名 バレーボール（球技・ネット型）

5、指導にあたって

（1）単元について

《機能的特性》 集団で攻防を展開し、得点を競い合うところに楽しさや喜びを味わうことができる。また、ラリーを続けることができた時は、得失点に関わらず楽しさを感じることができる。チームの特徴や対戦相手に応じて作戦を立て、勝敗を競い合うところに楽しさを味わうことができる。

《構造的特性》 ネットによって 2 等分されたコートにそれぞれ 6 名の競技者がネット越しにボールを打ち合い、相手にラリーを中断されることによって得られる得点を競うスポーツである。ボールは体のどの部分に触れても構わないが、ボールを持ち運んだり、投げたり、一時的に捕まえることはできない。レシーブ、トス、スパイクの各技能が状況に応じて適切に発揮されること（オープンスキル）が要求される。

《効果的特性》 コートを動き回るため持久力やスパイク時の瞬発力、動きの柔軟性、さらには的確な判断力の向上を図ることができる。また、ゲームではよりの確な状況判断、予見の能力、作戦の工夫や個人の責任及び連携プレーにおけるチームとの協力性なども育成できる。

（2）生徒の実態

体を動かすことが好きな生徒が多く、活発であり、体育の授業に意欲的に取り組む。また、ゲームをして勝負を楽しみたいという生徒が多いため、ゲームを通して技術の向上を期待する。

他のクラスよりも運動能力が高いため、白熱したゲームが予想される。

説明時とゲームのメリハリをしっかりと付けさせることに注意を払う必要がある。

（3）指導について

各チームで目標を決めさせて、授業の終わりに達成できたか聞く。また、新たに口

レーションと特別ルール（チームに1名だけサーブをどこから打ってもよい）を起用し、球技大会を想定した授業展開で、できるだけ多くゲームをさせることで活動の時間を確保する。

バレーが苦手な生徒に対しては、特別ルールにより、相手チームのコートにボールが届く楽しさを味あわせたい。

6、指導計画 全 9 時間中 7 時間目

時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0分	ランニング、ラジオ体操、(筋トレ)								スキル テスト
25分	オリエンテーション	基礎練習		技術練習 (チーム練習)					
	基礎練習	ゲーム							
50分	振り返り・片づけ								

7、単元目標

(1) 運動の技能

勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。また、バレーボールでは、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開すること。

(2) 運動への態度

バレーボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするこ

となどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。

(3) 運動の知識、思考、判断

バレーボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

8、本時の目標

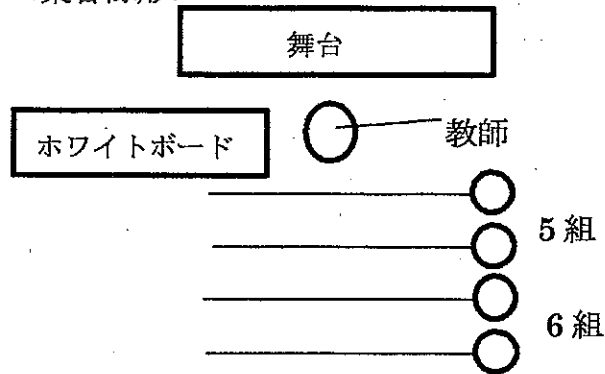
球技大会に向け、本番同様のルールで当日のゲームを想像し、各チームの目標に積極的に取り組むことができる。また、チーム練習を中心にコミュニケーションを重視し3段攻撃を積極的に行うことができる。

9、本時の展開

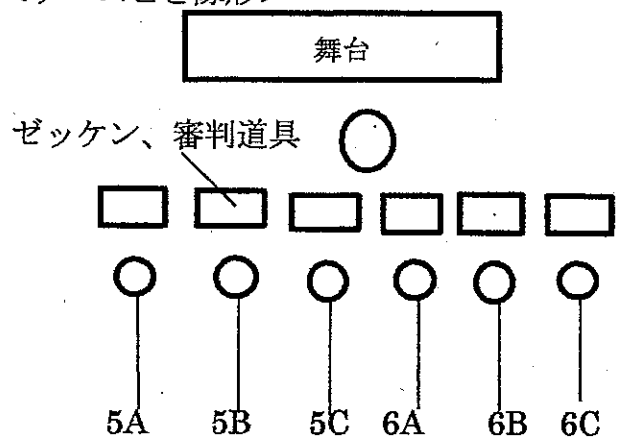
	学習活動	指導及び指導上の留意点・評価
導 入 7 分	◇2分前には整列、黙想	・各クラス2列横隊で並ばせる
	◇欠席確認、体調確認 ・体育委員が先生に報告	・体育委員から欠席者を聞く ・見学者は列から離れさせる
	◇挨拶をする	・服装を正させる ・大きな声で挨拶をさせる
	◇ランニング (グラウンド1周→声が小さければ周数を増やす)	・全員の声が大きく揃っているか確認する ・列を整えて走っているか見る(態度)
	◇ラジオ体操→馬跳び ・体育委員が前に立ち指示 →メンバーごとに集合	・大きく動き、声を出しているか見る(態度) ・ゼッケン、ホイッスル、得点板、旗(ラインズマン用)を用意する →メンバーごとに縦に座らせる
	◇メンバー表記入 (3分)	◇今日の目標を伝える 「繊細なレシーブと繊細なトス、そしてスパイク」 ・昨日のGOODPLAYをしていた生徒に見本となってもら ◇メンバー表を配る ・筆記用具を準備しておく ◇チーム練習のメニューを伝える

<p>展 開 35 分</p>	<p>◇チーム練習 (6分) (トス、スパイク、レシーブ 練) →メンバーごとに集合</p> <p>◇ルール確認 (1分)</p> <p>◇ゲーム (1ゲーム5分間) ×4 ↓移動1分 (計3分) ゲーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバー表、チーム目標がかけたチームから練習 させていく ・メンバー表を預かる ・積極的にチームで練習できているか見る (意欲) ☆次のプレーヤーにつなぎやすい (=受けやすい、 思いやりのある) パスができているかを観察法で見 る (意欲、態度) ◇ルールの説明をする ・ローテーションの仕方は図に表して再度確認する ・画用紙に書いたルールを用意し、再度確認する ・挨拶は開始のみ、ゲーム終了後はネット越しに握 手のみさせる ・3段攻撃を積極的に試しているか見る (技能) ・時間を図って合図をする ・主審 (1名)、副審 (1名)、ラインマン (2名) を ゲームを行わないチームにさせる ・組み合わせ表を壁に提示しておく
<p>ま と め 8 分</p>	<p>→メンバーごとに集合</p> <p>◇チームで反省を記入する (3分) →記入が終了したらクラスごと の2列横隊</p> <p>◇全体で反省を振り返る (3分)</p> <p>◇挨拶をする</p>	<p>◇チームで反省をさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバー表を配り、記入させる ・筆記用具を用意する ◇全体に反省を共有させる ・よいプレーをしていた生徒を褒める ・次のプレーヤーにつなぎやすいパスができていた (観察法で見えていた点) 生徒を褒める ・服装を正させる ・大きな声で挨拶をさせる

<集合隊形>

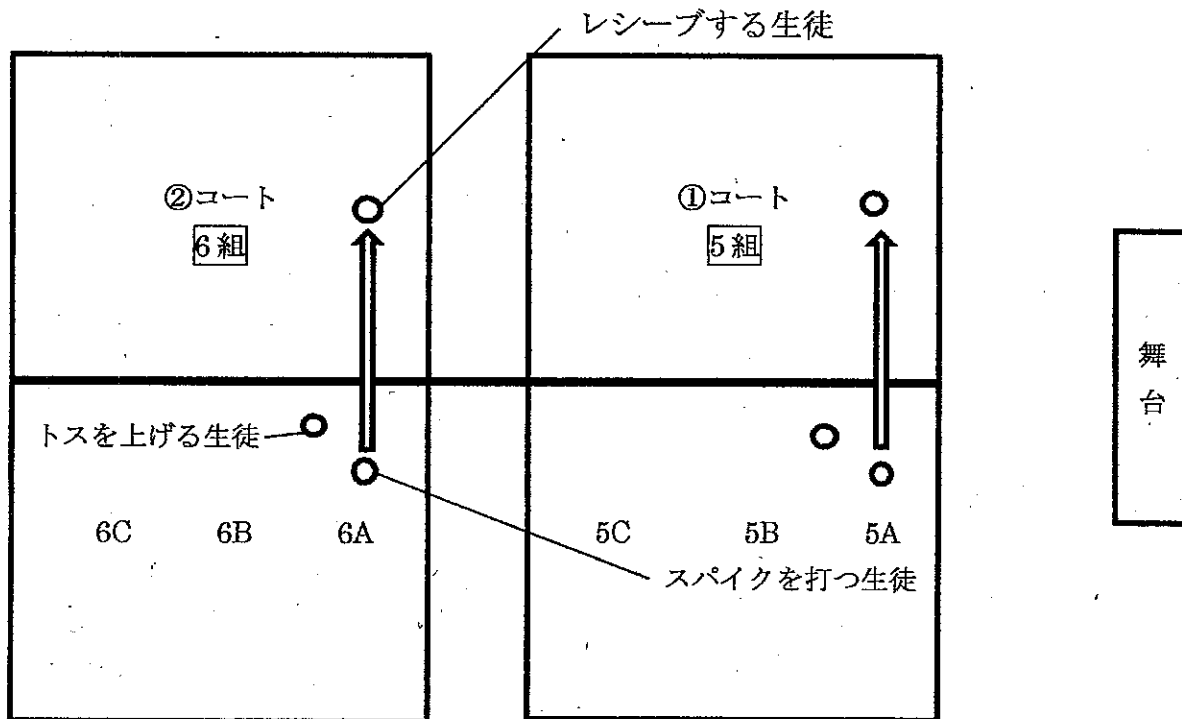


<チームごと隊形>



<チーム練習 (トス、スパイク、レシーブ練)>

チームでトスを上げる生徒、スパイクを打つ生徒、レシーブする生徒 (反対のコートに立つ) をローテーションで回しながら、バレーボールの3つの要素 (トス、スパイク、レシーブ) を練習する。



<準備物>

体操服、ゼッケン (5種類)、ホイッスル (2つ)、得点板 (2つ)、旗 (4本)、ネット (2つ)、ポール (4本)、バレーボール (最低20球)、セロハンテープ

<ルール>

1. サーブは一人一回ずつ
 - ・サービルエースでローテーション
 - ・ネットインあり
 - ・ミスしたら相手ボール
2. 得点したらローテーション
3. ボールを蹴ったら退場 (=その試合は出場できない)
4. 3回以内で返す
5. タッチネットは相手チームの得点 (副審が見る)
6. チームに1名特別ルール (=サーブをどこから打ってもよい)

主審・・・得点時、サーブ要求時にホイッスルで合図

副審・・・タッチネットを見る

ラインズマン・・・インかアウトかを対角に立ち見る

<ゲーム組み合わせ>

	①コート	②コート	審判
第1ゲーム	5A-6B	5B-6C	①5C ②6A
第2ゲーム	5C-6C	5B-6A	①5A ②6B
第3ゲーム	5A-6B	5C-6A	①5B ②6C
第4ゲーム	5B-6B	5A-6C	①5C ②6A

※5Cと6Aが1ゲーム少ないため次回多めにする

<コートサイズ>

縦 18m×横 9m

高さ 2m15cm